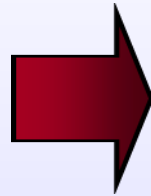


Covid-19パンデミック緊急事態宣言下のご体験 ～自己紹介をかねて～

1) MOOCから正規教育へ

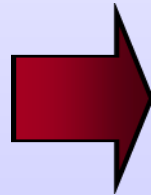
：デジタルクレデンシャルの可能性



日本オープンオンライン教育推進協議会 (JMOC)
副理事長 深澤 良彰として

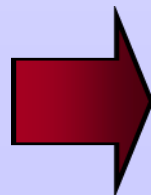
2) 日本におけるマイクロクレデンシャルの可能性

：最初の一歩はどこから



NPO 実務能力認定機構 (ACPA)
理事長 深澤 良彰として

3) 大学間連携・産学連携の将来：生涯学習の視点



文部科学省「スマートシステム&サービス技術の産学連携イノベティブ人材育成 (スマートエスイー)」拠点全体統括の一人 深澤 良彰として

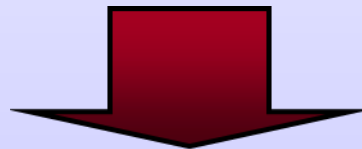
「単位を取る」ことの意味

学生に聞くと多くは「卒業のため・・・」



それだけなのですか？

あなたは、その科目の単位を取ることにより、
どのようなコンピテンシーを得たのですか？



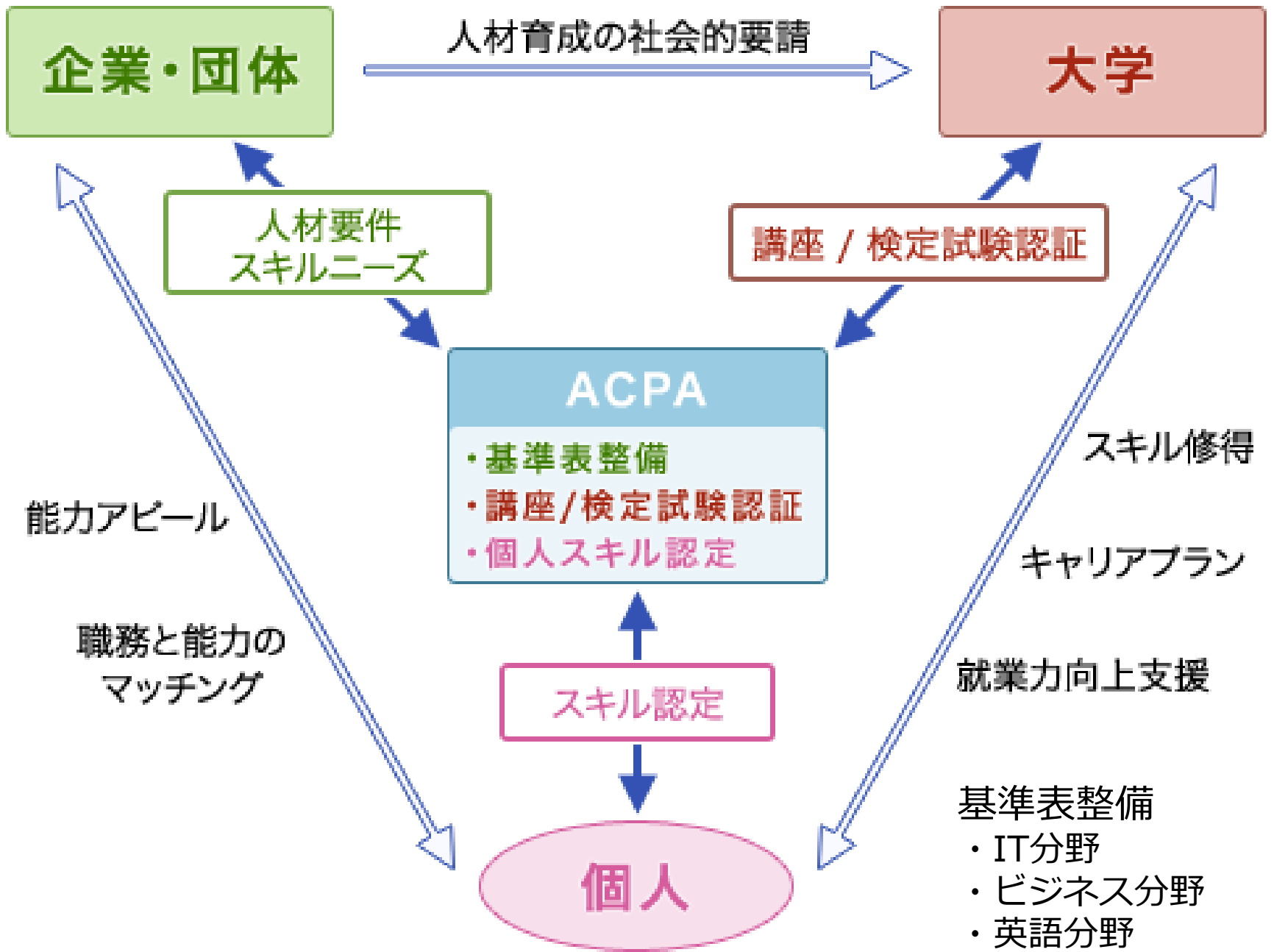
ACPAが認定するのは、実務能力

例：

科目「シェークスピアにおける英語表現」

VS 科目「ビジネス英会話」

NPO実務能力認定機構 (ACPA) Since 2003



NPO実務能力認定機構（ACPA）

大学提供科目等の

スキル内容の明確化ならびに教育の質保証

● 【基準表整備】

- 企業・経済団体等の人材要件を分析し、職種に必要なスキルを反映した実務能力基準表を整備

IT分野においては、IPAのITSS準拠

● 【講座認証】

- 実務能力基準表に基づき、教育機関の講座品質および効果を認証

申請された科目のシラバス・授業資料などから、講座認定委員会において、ITSSのどの部分を満たすのかの判定

● 【個人スキル認定】

- 認証した講座の履修合格者には、その証明としてスキル認定

学生は、就職などで活用

(質保証された) バッジ化 → 単位互換制度のベースに！

スマートエスイー：スマートシステム&サービス技術の 産学連携イノベティブ人材育成

教育における産学連携がうまくいかない理由

大学側：きれいな例
をきれいに教えたい
企業側：汚くても実
務的な内容への対応
能力がほしい

講師は、大学人と企
業人がペアで教える

大学生の問題意識と
企業人の問題意識の
違い

ACPAによる認証と
JMOCからのバッ
ジ発行（予定）

30名の対面授業と
JMOCへの講座提供

対面授業により受講
生のニーズをフィー
ドバック

例：K10 クラウドサービス・分散システム
授業概要：クラウドコンピューティング基盤
上にスケーラブルな分散システムを構築する
技術について学ぶ。

担当者：高橋竜一(茨城大学)、中島倫明(レ
ッドハット)、佐々木健太郎(楽天)

スマートエスイー:スマートシステム&サービス技術の 産学連携イノベータティブ人材育成

人材像②

システムオブシステムズ・品質アーキテクト



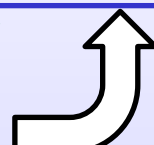
システム群から全体を構成、セキュリティを含む多面的品質評価、ビッグデータ分析を通じ改善

修了条件

- ・ MCPC IoT資格検定上級相当の知識を各科目で確認
- ・ 修了制作による**価値創造デモンストレーション**

進入条件

- ・ MCPC IoT資格検定中級相当をベースとして教育プログラムが扱う領域全体の基礎知識を問う**入学試験の合格**
- ・ 情報技術の実務経験



人材像①



組込み・IoTプロフェッショナル

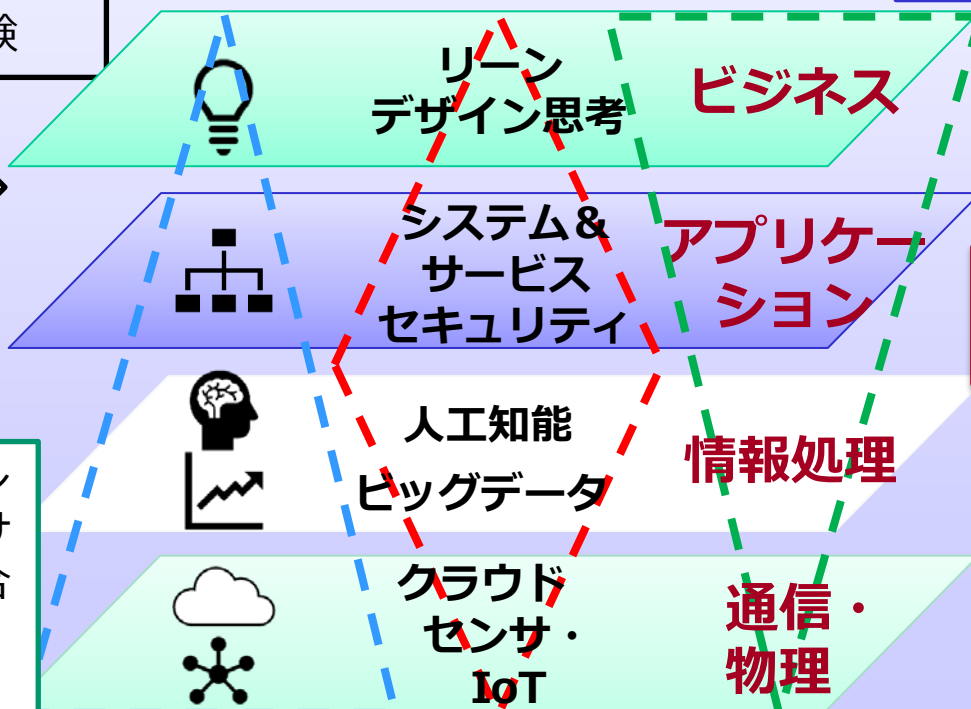
ビジネスやイノベーションを見据え、センサ群とクラウドを組み合わせたIoTシステムを設計構築

人材像③



クラウド・ビジネスイノベーター

ビッグデータに対し人工知能を適用し未来予測、適応的にサービスをクラウド上で提供するビジネスモデルをデザイン&検証



フルスタック+専門性

スマートエスイーの科目構成

詳細は、<https://smartse.jp/>



➡ AI・IoT・ビッグデータに関する
マイクロクレデンシャルの実現へ

某大学院での
科目認定協議中

